

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	保育所等訪問支援 みかたっこ		
○保護者評価実施期間	利用者がなく実施していない ~		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和8年3月17日 ~ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	利用者がなく実施していない ~ 年 月 日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・限局性学習症の療育スキルは、放課後等デイサービスでの療育実績があり、通級指導教室よりも高い専門性を持っている。		
2	・近隣の町からは、もともと放課後等デイサービスを土日に利用されるよう計画しているが、スポ少などの活動と重なり、どうしても欠席が多くなる。そのため、療育の効果が思うように上がらないことがあるが、保育所等訪問支援で、平日、こちらから出かけて療育することができる。		・保育所等訪問支援事業によって、幼児さんにだけでなく小学生～高校生まで支援ができることを、在籍校や管轄教育委員会、障害福祉担当課に理解してもらえるよう努力をする。
3	・近隣の町から平日、保護者が子供を療育機関に連れていくのは、かなりの負担がかかるので、保育所等訪問支援事業で、こちらから出かけて療育することができる。		

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・遠方で放課後等デイサービスの利用が難しいLDの子供さんの在籍中学校に協力をお願いしたが、一人の子供にだけ特別なことはできないと断られた。	・保育所等訪問支援事業は、放課後等デイサービスや児童発達支援ほどには学校や園に馴染みがない。 ・事業名から小学校～高校も対象であることを理解してもらいにくい。	・保育所等訪問支援事業によって、幼児さんにだけでなく小学生～高校生まで支援ができることを、在籍校や管轄教育委員会、障害福祉担当課に理解してもらえるよう努力をする。 ・小中学校での実施がしやすいのは、通級指導教室との連携が可能性があるのではないかと思う。
2	・民間の立場で行っているため、認定保育園等でチラシ配布が難しい。		・チラシ配布を行政に協力してもらえるよう、くじけず依頼し続けていく。
3			